



平成27年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月14日

上場取引所 東

上場会社名 (株)オンリー

コード番号 3376 URL <http://www.only.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中西浩之

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 中村直樹

TEL 075-354-4129

四半期報告書提出予定日 平成27年4月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年8月期第2四半期の連結業績(平成26年9月1日～平成27年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第2四半期	3,585	△2.0	437	△10.7	486	△3.8	282	△4.5
26年8月期第2四半期	3,656	3.4	489	△9.0	505	△7.4	295	△6.7

(注) 包括利益 27年8月期第2四半期 283百万円 (△4.2%) 26年8月期第2四半期 295百万円 (△6.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年8月期第2四半期	58.53	—
26年8月期第2四半期	61.28	—

(注) 当社は、平成26年3月1日付で、普通株式1株につき100株の株式分割を実施いたしましたが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
27年8月期第2四半期	7,402	—	5,169	—	69.8	1,071.98
26年8月期	7,193	—	5,001	—	69.5	1,037.28

(参考) 自己資本 27年8月期第2四半期 5,169百万円 26年8月期 5,001百万円

(注) 当社は、平成26年3月1日付で、普通株式1株につき100株の株式分割を実施いたしましたが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	0.00	—	24.00	24.00
27年8月期	—	0.00	—	—	—
27年8月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年8月期の連結業績予想(平成26年9月1日～平成27年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,700	5.4	1,000	4.1	1,050	4.9	600	4.5	124.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年8月期2Q	5,972,000 株	26年8月期	5,972,000 株
② 期末自己株式数	27年8月期2Q	1,150,000 株	26年8月期	1,150,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年8月期2Q	4,822,000 株	26年8月期2Q	4,822,000 株

(注)当社は、平成26年3月1日付で、普通株式1株につき100株の株式分割を実施いたしましたが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続きの対象であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安による輸出拡大が輸出産業及び関連業種にも波及したほか、企業の設備投資意欲が改善傾向を示したことで製造業を中心に改善いたしました。また、日経平均株価が平成27年2月に15年ぶりの高値をつけるなど、原油安や賃金上昇への期待もあり、消費税増税後の落ち込みから持ち直しつつあります。

一方、紳士服市場におきましては、少子高齢化等によりスーツ着用人口が全体的に減少していることに加えて、個人消費低迷の影響や企業間の価格競争激化等により、全般的には依然として厳しい環境が続いております。

こうした状況の中で、当社グループは、「笑顔」、「感謝」、「清掃・整頓」を行動理念に掲げ、顧客満足の最大化を目指して、以下のとおり取り組んでまいりました。

商品面では、平成26年秋冬シーズンより、「オンリー」店舗にて新たに従来のコレクションよりもさらにトレンド感やクオリティを追求した「ONLY PREMIO」コレクションの販売を開始し、買上単価増や高感度の顧客層の獲得に取り組みました。

販売店舗数は、「オンリー」は5店舗出店（内3店舗は業態変更）して14店舗、「ザ・スーパースーツストア」は3店舗閉店（内2店舗は業態変更）して30店舗、アウトレット販売等を行う「スーツアンドスーツ」は2店舗出店及び1店舗閉店して23店舗、ウィメンズスーツ専門店「シーラブズスーツ」は1店舗閉店して2店舗となり、グループ合計で69店舗となりました（前期末67店舗）。都市部大型路面店の改装も含め「オンリー」業態の店舗の出店を積極的に進めると同時に、PRを積極的に行うことで、ブランド発信力の強化に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は35億85百万円（前年同期比2.0%減）となりました。商品アイテム別では、スリーピーススーツやオーダースーツといった高単価スーツの販売が比較的好調で、その他コートやシューズの販売も堅調に推移いたしました。

次に、販売費及び一般管理費については、新店出店や「オンリー」業態への改装に伴う設備投資により減価償却費等が増加いたしました。前期発生不動産取得に伴う経費がなくなったこと等により、18億58百万円（同0.3%減）となりました。

また、利益面につきましては営業利益は4億37百万円（同10.7%減）、経常利益は4億86百万円（同3.8%減）、四半期純利益は2億82百万円（同4.5%減）となりました。

なお、当社グループは紳士服、婦人服及び関連商品の製造・販売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億9百万円増加し、74億2百万円となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億25百万円減少して30億2百万円となりました。主な変動要因は、設備投資や法人税等の支払い等により現金及び預金が2億36百万円減少した一方、商品及び製品が76百万円増加し、売掛金についても70百万円増加したことによるものであります。また、固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億34百万円増加し、44億円となりました。主な変動要因は、新店出店や改装の実施による建物及び構築物の増加、京都市中心部の賃貸用ビル新築工事の進捗による建設仮勘定の増加等により有形固定資産が3億79百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度に比べ42百万円増加し、22億33百万円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度に比べ11百万円増加し、11億38百万円となりました。主な変動要因は、未払法人税等が34百万円、ポイント引当金が8百万円それぞれ減少いたしました。また、1年内返済予定の長期借入金が39百万円、その他流動負債が17百万円それぞれ増加いたしました。また、固定負債につきましては、前連結会計年度に比べ30百万円増加し、10億95百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金が31百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度に比べ1億67百万円増加し、51億69百万円となりました。前期の期末配当1億15百万円を実施した一方で、四半期純利益を2億82百万円計上したことにより、利益剰余金が1億66百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、消費増税後の需要反動減からの回復の遅れの影響から、売上高及び利益について、計画に対して若干の未達となりました。しかしながら、第3四半期以降については消費増税後の需要反動減からの回復の兆しが見られることから、引き続き既存店営業力強化及び新規店舗の出店に注力し、計画値達成に向け取り組んでまいります。

このように、平成26年10月15日に発表いたしました通期連結業績予想の前提となる計画に大きな変動は生じていないことから、当該業績予想の修正はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,395,510	1,158,870
売掛金	272,449	342,468
商品及び製品	1,155,121	1,232,010
仕掛品	4,611	4,956
原材料及び貯蔵品	136,410	144,986
繰延税金資産	95,360	89,410
その他	68,326	30,025
流動資産合計	3,127,790	3,002,729
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,442,359	1,508,345
減価償却累計額	△637,360	△631,467
建物及び構築物(純額)	804,999	876,877
工具、器具及び備品	495,149	594,600
減価償却累計額	△351,578	△389,570
工具、器具及び備品(純額)	143,571	205,029
土地	1,916,035	1,916,035
建設仮勘定	66,485	309,367
その他	10,573	14,703
減価償却累計額	△6,485	△7,391
その他(純額)	4,088	7,312
有形固定資産合計	2,935,179	3,314,622
無形固定資産	16,756	22,375
投資その他の資産		
繰延税金資産	79,623	83,837
差入保証金	960,827	950,520
その他	82,927	38,752
貸倒引当金	△10,000	△10,000
投資その他の資産合計	1,113,378	1,063,111
固定資産合計	4,065,314	4,400,109
資産合計	7,193,104	7,402,838

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	167,569	164,098
1年内返済予定の長期借入金	223,992	263,988
未払法人税等	218,702	183,751
ポイント引当金	61,986	53,658
資産除去債務	7,553	9,076
その他	446,815	463,956
流動負債合計	1,126,620	1,138,528
固定負債		
長期借入金	588,678	620,021
長期末払金	139,121	139,121
退職給付に係る負債	64,528	67,205
資産除去債務	191,376	187,860
その他	81,000	81,000
固定負債合計	1,064,705	1,095,208
負債合計	2,191,325	2,233,736
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079,850	1,079,850
資本剰余金	1,186,500	1,186,500
利益剰余金	3,149,429	3,315,928
自己株式	△414,000	△414,000
株主資本合計	5,001,779	5,168,278
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	—	823
その他の包括利益累計額合計	—	823
純資産合計	5,001,779	5,169,101
負債純資産合計	7,193,104	7,402,838

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)
売上高	3,656,996	3,585,624
売上原価	1,303,519	1,289,669
売上総利益	2,353,477	2,295,954
販売費及び一般管理費	1,864,218	1,858,868
営業利益	489,258	437,086
営業外収益		
受取利息	25	20
受取手数料	2,643	8,545
協賛金収入	17,116	22,044
保険返戻金	—	23,247
雑収入	498	673
営業外収益合計	20,284	54,532
営業外費用		
支払利息	2,992	3,331
雑損失	672	1,594
営業外費用合計	3,664	4,926
経常利益	505,878	486,692
特別利益		
固定資産売却益	364	—
特別利益合計	364	—
特別損失		
固定資産除却損	3,452	10,023
リース解約損	534	—
減損損失	—	16,596
特別損失合計	3,987	26,619
税金等調整前四半期純利益	502,255	460,072
法人税、住民税及び事業税	202,543	176,109
法人税等調整額	4,237	1,735
法人税等合計	206,780	177,845
少数株主損益調整前四半期純利益	295,475	282,227
四半期純利益	295,475	282,227

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	295,475	282,227
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	—	823
その他の包括利益合計	—	823
四半期包括利益	295,475	283,050
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	295,475	283,050
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	502,255	460,072
減価償却費	109,983	120,208
減損損失	—	16,596
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△11,287	△8,328
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,215	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	2,676
受取利息及び受取配当金	△25	△20
支払利息	2,992	3,331
為替差損益 (△は益)	△65	0
有形固定資産売却損益 (△は益)	△364	—
固定資産除却損	3,452	10,023
保険戻戻金	—	△23,247
売上債権の増減額 (△は増加)	△42,386	△70,018
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△80,032	△85,810
仕入債務の増減額 (△は減少)	△94,477	△3,471
前受金の増減額 (△は減少)	60,191	37,763
その他	△69,058	35,960
小計	382,392	495,736
利息及び配当金の受取額	21	16
利息の支払額	△2,963	△3,444
法人税等の支払額	△243,146	△211,059
営業活動によるキャッシュ・フロー	136,304	281,248
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△407,369	△529,891
長期前払費用の取得による支出	△19,131	△4,122
差入保証金の差入による支出	△21,295	△27,060
差入保証金の回収による収入	5,734	40,754
保険積立金の払戻による収入	—	66,480
その他	△3,116	△19,906
投資活動によるキャッシュ・フロー	△445,178	△473,746
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△87,000	△128,661
配当金の支払額	△124,632	△115,479
財務活動によるキャッシュ・フロー	△211,632	△44,140
現金及び現金同等物に係る換算差額	65	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△520,441	△236,639
現金及び現金同等物の期首残高	1,647,607	1,395,510
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,127,165	1,158,870

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、紳士服、婦人服及び関連商品の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。